

2021年11月12日

選手、関係者 各位

一般財団法人東京都スキー連盟
競技本部長 葦澤 新太郎

2021-22シーズンにおけるアルペン各種ルール変更に関する
SAT 公認大会での運用について【通知】

平素より、当連盟にご支援とご協力を頂いておりますこと、深く御礼を申し上げます。標記の件に関しまして2021-22シーズンよりルール変更となっておりますので、以下の通りにご対応頂きたく、ご通知申し上げます。

1) FIS・SAJ ルールともにスキーブーツソールの厚さが変更になりました。

【別紙①参照】。

(改訂前) 許容値を含めた測定値として 45mm (43mm+2mm) が上限値

(改定後) 許容値を含めた測定値として 43.5mm (43mm+0.5mm)が上限値

2) FIS・SAJ ルールともにフッ素化ワックスが使用禁止になりました。

【別紙②—8参照】

*1)及び2)ともに SAT 公認大会においても準用いたします。

3) マスターズ、ユース(K2)の大会を除く、FIS,SAJ 公認大会において、FIS ラベルのあるレーシングスーツの着用が義務つけられます。【別紙②—5参照】
従来の FIS 環(プロンプト)も認められません。

*SAT 公認大会においては、「推奨」とします。

但し、国体予選において、国体(本選)出場の意思のある選手は着用してください。

指定外の用具で出場の場合、国体出場枠内に入っても、代表選手選考の対象とはならないので留意すること。

以 上